



分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・産業廃棄物取扱資格を有する専門業者に依頼し適切に処理している。 ・社内には、農業指導士を配置し、適切な運用を行っている。			3.9			6.3				11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・ゴルフスタイルは、手引きカート方式を採用している。 ・熊本県の排出量簡易計算シートを活用してエネルギーの使用量、及びCO2排出量算定を行っている。2023年度CO2量合計149(前年比▲3)							7.3					13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・執務室の適正な温度管理による節電、車両のアイドリングストップ推進にて、CO2排出量の削減に取り組んでいる。 ・熊本県の排出量簡易計算シートを活用してエネルギーの使用量、及びCO2排出量算定を行っている。2023年度CO2量合計149(前年比▲3)		2.4					7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・「肥後の水とみどりの愛護基金」の趣旨に賛同し、環境保全につながる寄付を実施している。						6.6							14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・裏紙や再生紙の利用を推奨するとともに、ごみの分別の徹底、又受付のIT化によりペーパーレスに取り組んでいる。									9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「肥後の水とみどりの愛護基金」への寄付を行っている。 ・植樹、田植え等のボランティア活動に参加している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・コピー用紙等は再生紙を使用するなど、環境に配慮した物品購入を心掛けている。									9.4		12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・合志百花園ファームでの余剰生産物の使用、適切な在庫管理など、百花園食堂(ゴルフ場内)にて食品ロスの削減を推進している。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・施設内一面緑の芝地、500本超の松の管理をはじめ種々多様な樹木の保全等、ゴルフ場の植生管理に取り組んでいることでCO2の吸収、ひいてはカーボンニュートラルの実現へも貢献している。 ・花壇の整備を継続的にを行い、美化の徹底に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・関連企業の店舗跡地で太陽光発電施設を運営している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・「肥後の水とみどりの愛護基金」の趣旨に賛同し、植樹、下草刈り等のボランティアに参加している。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・社員のマイバッグやマイボトル利用を推奨しており、社員も実行している。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●											9.4		11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13			17.2	

